

「恋する涙」の授業について

1 はじめに

表題の道徳教材(中学校2年生)における授業展開について意見を求められました。私の考えを紹介します。なお、2の(1)～(4)については、指導書の通りです。

2 授業展開について

- (1) 教材名 恋する涙
- (2) 主題名 友情と好意
- (3) 内容項目 B-(8) 友情、信頼
- (4) ねらい 悩みや葛藤を乗り越えることで真の友情は培われるものであることを理解し、相手に信頼される自分になろうとする実践意欲を高める。

※ 学習指導要領における内容項目 友情、信頼

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

(5) 考 察

(ア) 資料と指導書のねらいについて

ねらいにある「悩みや葛藤を乗り越えることで真の友情は培われる」ことが資料から読み取れるのであろうか。悩みや葛藤を乗り越えて、友だちとの関係が元に戻ったことは読み取れるが、真の友情が培われたとは思えない。

また、ねらいに「相手に信頼される自分になろうとする実践意欲を高める」とあるが、資料や指導書の発問から、このねらいに迫るのはかなり難しいのではないだろうか。資料の最後に、「友だちのことをうらやましいと感じた時、…、ちゃんと見つめることで、克服しようとした。」とある。これは、自分が迷いなく生きていくためにちかったことであって、相手に信頼される自分になろうとするためにちかったことではないように思われ、ここから、ねらいに迫ることも難しいと考える。

(イ) 本時の展開について

指導書のねらいや、学習指導要領における内容項目「友情、信頼」についての記載から、「友だちを大切にする(友情を大切にする)が故に悩みや葛藤が沸き起こることを知り、これまでの友だちとの関係における悩みや葛藤を振り返ることから、人間関係を深めていこうとする実践意欲を高める。」をねらいとして、授業を展開してはどうかと考えた。

3 指導過程

(1) 導入 5分

○発問 「友だちと遊ぶ約束をしていたのに、別の友だちから遊ぼうと誘われたことはありませんか。」
経験のある人? 手を挙げさせる程度にする。

(2) 展開前半 20分 【資料から道徳的価値を考える】

①登場人物の説明 私、友だち、○○くん

②資料の範読

発問① 友だちに打ちあげられたとき、「私」の気持ちはどのようなようだったでしょうか。

発問② p177 「友だちと気まずい関係になるのも悲しい。そんな複雑にゆれる自分の心を見すかされないように、私は友だちの前で必要以上に明るくふるまう。」ことについて、あなたはどのように思いますか。

(3) 展開後半 20分 【生活を振り返りから道徳的価値を考える】

発問③ 友だちとの関係が悪くならないように、本当の自分の気持ちとは違う行動をしたことはありますか。

発問④ 今、振り返って、そのことをどう思いますか。また、今後、同じようなことが起きたらどうしますか。

発問③の代わりに

友だちと遊ぶ約束をしていたのに、別の友だちから遊ぼうと誘われたとき、どうしましたか。

友だちと気まずくなったとき、どのように解決しましたか。

友だちと気まずくなりかけたとき、どのように行動しましたか。

※経験したことから選ばせるという方法もある。

(4) 終末 5分 【授業の振り返りをする】

○授業の振り返りを行い、道徳ノートに○をつける。

○振り返りの4つの項目から一つを選び、具体的にどんなことかを書く。(一行程度でよい)

4 おわりに

友だちとの約束があるにもかかわらず、別の友だちから誘いを受けるということは、小学校でも経験しているはずである。それぞれの友だちとの関係を崩したくないが故に、葛藤が生まれたり、時には、嘘をついてしまったりする。これまでの生活を振り返り、友だちを大切にするために、また、信頼される自分であるために、どうあるべきか、どう行動すべきかを考えさせたいものである。